

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	福島市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	文化遺産を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>「福島市総合計画前期基本計画」及び「福島市教育振興基本計画」を踏まえ、文化財の保護・保存と活用に向け、特に地域の文化遺産（民俗芸能等）の次世代への継承・保存や、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、「福島伝統文化リバースプロジェクト」を実施する。</p> <p>併せて、優れた伝統芸能の鑑賞機会を提供することにより芸術文化の振興を図るとともに、市民の文化遺産に対する理解を促進し文化遺産の継承に資するため、「東北の民俗芸能」を実施し、実施計画期間中は、2事業の取り組みを通じて、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の充実を目指す。</p> <p>なお、「福島伝統文化リバースプロジェクト」は、平成29年度をこれまでの事業評価期間と位置づけ、公演等の事業は行わない。</p>			
6 実施体制			
<p>福島市が、本事業計画に係る全体の調整や、補助事業に係る指導等を行い、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>(1) 福島伝統文化リバースプロジェクト  伝説文化みらい広場実行委員会（委員長 橋 正鳳）  構成団体 ((公)日本舞踊協会福島県支部、特定非営利活動法人えんじょいらいふ福祉会、藤陰流三藤会、花柳流日本舞踊里の会・里の子会)</p> <p>(2) 東北の民俗芸能  旧広瀬座事業実行委員会（委員長 懸田弘訓）  構成 福島市文化財保護審議会委員長、民家園のつどい会長、福島市無形民俗文化財保存団体連絡協議会会長、季刊誌「板木」編集長、商工会議所事務局長 商工会議所女性会、日本旅行業協会東北支部福島地区会幹事、福島駅駅長 福島市商店街連合会青年部</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 28,158 千円	平成29年度申請額： 1,817 千円
	(2) 実施事業の概要	国指定重要文化財である旧広瀬座において、子ども歌舞伎の公演を実施	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
市民の地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化が期待できる。また、行政と民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制が構築されるとともに、観光客の増加に寄与することができる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	福島市からの補助 国指定重要文化財の旧広瀬座において、人形浄瑠璃の公演		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
特になし			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	福島市教育委員会文化課		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	福島市民家園入場者数			関連事業:	事業①②	
目標値 1 :	平成 27 年度 46,169 人			⇒	平成 31 年度 48,005 人	
設定根拠 1 :	平成 27 年度末実績から 4% の増を目指す。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
46,169 人	40,515 人	人	人	人	人	
0%	-308%					

